

がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	非ホジキンリンパ腫	Pola-BR
投与予定	休薬を含めて1クール 21 日 6 クール施行	

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day-)	
							1	2
1	生食	50ml			点滴静注	5分	↓	
2	(リツキシマブ施行日) 生食 + □メチルプレドニゾン or □ヒドロコルチゾン	20ml 40mg 100mg			静注		↓	
3	生食★ リツキシマブ	100/500ml 375 mg/m ²	#REF! mg/body	実際の投与量 ml	点滴静注	医師の指示通り	↓	
		★2回目以降90分で投与する場合は生食 250ml規格で						
4	生食 (リツキシマブ同日施行時)	100ml			点滴静注	30分	↓	
5	生食(プライミング用)	50ml			点滴静注	5分	↓	
6	生食 ポラツズマブ ベドチン 溶解用蒸留水	100ml ※ 1.8 mg/kg	#REF! mg/body	実際の投与量 ml	点滴静注	医師の指示通り	↓	
		※ポラツズマブが75mg/body未満の場合は50mlとする						
7	生食(フラッシュ用)	50ml			点滴静注	5分	↓	
8	グラニセトロンバッグ デキサメタゾン	3mg/100ml 6.6mg			点滴静注	30分	↓	↓
		★プライミングフラッシュ生食必要★						
9	ベンダムスチン 生食 250ml	90 mg/m ²	#REF! mg/body	実際の投与量 ml	点滴静注	60分	↓	↓
		実際に投与する生食量はベンダムスチン液量分を減量						
10	生食 ◎ベンダムスチンと同時投与	250ml			点滴静注	60分	↓	↓

ポラツズマブ投与時は0.2又は0.22 μm インラインフィルターを通して投与すること。

備考

Rp	薬品名	薬価最小組み合わせ	備考
3	リツキシマブ	100mg: 0mg 500mg: 0mg	1~4mg/mlに希釈調製使用する。 初回: 50mg/hで開始、30分毎に50mg/hずつup。最大400mg/h。 2回目以降: 下記のいずれかに該当する場合は、当該注入速度を選択することができる。 ・初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/hで開始可、30分毎に100mg/hずつup。最大400mg/h。 ・臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/μL未満である場合、90分間で投与可※ ※総液量を250mlとし、最初の30分は100ml/h、以後の60分は200ml/hで点滴
6	ポラツズマブ ベドチン	30mg: 0mg 140mg: 0mg	30mg1vlは1.8ml、140mg1vlは7.2mlの注射用水により溶解して20mg/mlの濃度にした後、希釈後の濃度が0.72mg/mlから2.70mg/mlになるように必要量を生食、5%ブドウ糖溶液のいずれかを用いて希釈する。 初回投与時は90分かけて投与し、忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分間で短縮できる。
9	ベンダムスチン		生食はベンダムスチン液量分を250mlより減量すること。

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
(リツキシマブ/ポラツズマブ施行時) イブプロフェン	100mg	リツキシマブ/ポラツズマブ 30分前	リツキシマブ/ポラツズマブ 施行日
(リツキシマブ/ポラツズマブ施行時) d-クロルフェニラミン	2mg	リツキシマブ/ポラツズマブ 30分前	リツキシマブ/ポラツズマブ 施行日

リツキシマブの投与日は変更になる可能性あり。
別途ステロイドを使用している場合はリツキシマブの前投薬のステロイドは使用しない場合あり。
ステロイドの用量・投与期間は患者の状態で変更する場合あり。